

取り組んだ テーマ	『SSWとしてのチーム校内体制の構築』
--------------	---------------------

1 達成に向けた手立て

- ・各種委員会への参加
- ・SSWへの役割の周知
- ・教職員への研修活動
- ・必要な情報の収集
- ・ミクロからメゾへの取組

2 取組の成果と課題

成 果	課 題
・管理職との初回面談で学校課題やSSWへの期待内容を確認することで、活動の方向性が掴めた。 例：不登校対策委員会、生徒指導委員会、ケース会議等参加（情報収集、アセスメント、プランニング、役割分担、モニタリング）福祉の視点での発言 ・児童生徒の情報収集を行い、介入方法を提案・確認した。 ・SSWにより配布、保護者ICT、HP等を活用しSSWの配置や活動内容を子供・保護者、教職員へ周知し支援に繋がったケースが増えた。 ・学校の情報を共有することで、的確な進路指導や経済的支援に繋がった。（手帳取得等） ・短時間で教職員との交流を行ったり、保護者や子どもと繋がったりするために家庭訪問に同行した。 ・研修活動を行い、SSWと共同することで教職員の負担軽減に繋がることを理解してもらった。 ・学校と他機関との繋ぎ役を行うことで、子どもが学校に繋がりが続けることができた。	・年度初めに管理職としっかり連携しておく。 ・教育的な視点と福祉的視点のすり合わせを行う。 ・継続的にSSWの活動について周知してもらう。 ・時間的なゆとりをもって対応できるようにする。 ・研修時間の確保が難しい場合は、紙媒体での情報提供も可能。

3 次年度に向けて

- チーム学校の一員として、SSWができることについて提案していく。
- 「個業」から「協働」シフトチェンジを意識して取り組む。